

第5学年 英語科学習指導案

令和元年11月28日（木）第5校時

1 単元名 We Can! 1 Unit 5 「She can run fast. He can jump high.」

2 単元について

本単元は、児童が初めて三人称に出会う単元である。今までは、「I like ～.」や、「I want ～.」等の一人称で自分の思いを伝えたり、「When is your birthday?」「What animal do you like?」等、二人称で相手の情報や思いを尋ねたりする学習を行ってきた。今後子ども達が、自分と相手といった二人だけの関係ではなく、身近な家族や友達、周りの人の話をしたくなるのは、ごく自然な流れである。しかし、英語を使って第三者のことを伝え合うとなると、三人称単数形の動詞変化が生じ、高学年の児童にとって負荷が大きい。そこで本単元では、**can** とともに扱うことで動詞変化を回避し、三人称を使った表現を無理なく習得することにつなげる。そして、児童が **can** を使ってできることを紹介し合ったり、相手ができることを認め合ったりする活動を通して、主体的に学習する姿を目指したい。また、書く活動もこの単元から徐々に始めていく。ここでは、情報を記録したり、発表の前にまとめをしたりといった活動で、書く活動を取り入れていく。

3 児童の実態
(略)

4 単元の目標

- ・他者に配慮しながら、自分や第三者についてできることやできないことなどを伝え合おうとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・自分や第三者について、できることやできないことなどを、考えや気持ちも含めて伝え合う表現に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】
- ・言語や人、それぞれに違いがあることに気付く。 【言語や文化に関する気付き】

5 単元の指導計画・評価規準

時	目標（◆）と主な活動（【 】, ○） ※【誌面化されている活動】	◎評価<方法>
1	<p>◆できる・できないという表現に慣れ親しもう。</p> <p>○Small Talk：先生のできること・できないこと</p> <p>○プレキソ英語「ぼくの得意なこと」(NHK for school) を視聴し、can と can't の意味を推測する。 【Let's Watch and Think 1】 p.36</p> <p>・音声のみを聞いて、その人物がだれか推測する。</p> <p>○いろいろな動作の表現を知り、自分ができること・できないことを考える。</p> <p>○自分ができることをペアの友達に伝える。 【Let's Chant】 p.34,35 オプション②</p>	<p>◎自分や相手ができること・できないことを表す表現を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>
2	<p>◆できるかどうかを友達に尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもう。</p> <p>○ペアで、自分ができること・できないことを伝え合う。</p> <p>○Small Talk：好きなスポーツや趣味 【Let's Chant】 p.34,35 オプション②・オプション①</p>	<p>◎できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取って</p>

	<p>【Let's Play 2】 p.37 [文2]ランダム再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問に答えたり、代表児童に尋ねたりする。 <p>○感想や反応に使える表現を知る。</p> <p>【Activity 1】 p.37</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの友達ができるかできないかを予想して尋ね合う。 	<p>る。＜発表観察・振り返りカード点検＞</p> <p>◎できるかどうかを尋ねたり答えたりしている。＜行動観察・記述分析・振り返りカード点検＞</p>
3	<p>◆短い話を聞いて、情報を聞き取ろう。できるかどうかを尋ねたり答えたりしよう。</p> <p>○ペアでできること・できないことを尋ねたり答えたりする。</p> <p>【Let's Chant】 p.34,35 オプション①</p> <p>【Let's Listen 2】 p.36</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、どの動物なのかを考える。 <p>【Let's Watch and Think 2】 前半 p.38</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を視聴して、誌面に○や□を書いたり、HRTの質問に答えたりする。 <p>○感想や反応に使える表現の確認をする。</p> <p>【Activity 2】 p.37</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達にあることについてできるかどうかを尋ね、できる場合はイラストの下に名前を書いてもらう。 	<p>◎できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取っている。＜発表観察・振り返りカード点検＞</p> <p>◎できるかどうかを尋ねたり答えたりしている。＜行動観察・記述分析・振り返りカード点検＞</p>
4	<p>◆第三者についてできることやできないことを尋ねたり答えたりできるようにしよう。新和小の先生方にインタビューをする計画を立てよう。</p> <p>○ペアでできること・できないことを尋ねたり答えたりする。</p> <p>○Small Talk：好きな有名人</p> <p>【Let's Chant】 p.34,35 オプション①</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 後半 p.38</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さとしが友達について、he/sheを使って紹介する場面を視聴し、第三者の紹介の仕方を知る。 <p>○Who is he? Who is she?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRTによるhe/sheを使った人物紹介を聞き、それが誰か当てる。 <p>【Let's Chant】 p.34,35 オプション④</p> <p>【Activity 3】 p.39</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとにインタビューする先生を決め、準備をする。 	<p>◎第三者について、できることやできないことを聞き取っている。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p>
⑤ 本時	<p>◆インタビューした内容と自分の気持ちを伝え合う準備をしよう。</p> <p>○ペアでできること・できないことを尋ねたり答えたりする。</p> <p>【Let's Chant】 p.34,35 オプション④</p> <p>○Small Talk：Who is he? Who is She? クイズ</p> <p>○感想や反応に使える表現を復習する。</p> <p>【Activity 4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時のデジタル教材を再度視聴し、第三者の紹介の仕方を参考にする。 ・先生にインタビューしたことをもとに、その先生ができることやできないことを、自分の考えや気持ちも含めながら伝えられるように準備する。 <p>【Activity 5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班の友達と伝え合い、よかった点や分りにくかった点についてアドバイスし合い、改善して次時につなげる。 	<p>◎自分やインタビューした先生について、できることやできないことを、考えや気持ちも含めて伝えている。＜行動観察・振り返りカード＞</p>

6	<p>◆インタビューした内容と自分の気持ちを伝え合おう。</p> <p>○Small Talk：尊敬する人 【Let's Chant】 p.34,35 オプション④ 【Activity 5】 ・班を入れ替え、インタビューの結果をもとに先生ができることやできないことを、自分のことも含めて伝え合う。</p> <p>○ 【Let's Read and Write】 ・発表をもとに、例を参考にしながら書き写す。</p>	<p>◎他者に配慮しながら、学校の先生についてできることやできないことを、自分のことや気持ちなども含めて紹介している。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p>
---	--	---

6 本時（5／6時）

(1) 目標

学校の先生のできることやできないことを英語で話し、自分のことや気持ちなども含めながら伝えようとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(2) 準備

デジタル教材・・・**デ教**、児童用テキスト・・・**テキスト**、絵カード・・・**絵カ**
 ワークシート・・・**WS**、振り返りカード・・・**振カ**

(3) 展開

時間	活動内容	児童の活動	ティーム・ティーチング		○指導上の留意点 ◎評価〈方法〉 ◆準備物
			T 1：HRT の活動	T 2：ALT の活動	
1分	1 あいさつ	・挨拶をする。(全体の後、ペアの友達とする。)	・全体で挨拶をした後、ペアで挨拶するように指示する。	・挨拶の後に、天気・曜日・日にちを尋ねる。	○気持ちのよい挨拶をする。 ○友達の様子を見て伝えるようにさせる。
2分	2 Small Talk (児童同士)	・既習の表現を使ったHRTとALTのデモンストレーションを聞く。 ・配付された絵カードを使って2人の友達と会話する。	・デモンストレーションをする。 ・児童同士の会話の見取り、必要に応じて支援をする。	・デモンストレーションをする。 ・児童と一緒に会話をする。必要に応じて支援をする。	○相手を意識して尋ねたり答えたりすることができるように助言する。 ◆ 絵カ 、 振カ
1分	3 今日のめあての確認	・今日のめあてを知る。	・今日のめあてを確認する。		○児童に見通しを持たせて意欲付けをする。
		インタビューしたことを伝える準備をしよう。			

2分	4 【Let's Chant】 「He can run fast. She can jump high.」	<ul style="list-style-type: none"> 音声にのせてチャンツを言う。 有名人のできることを紹介する表現について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導を行い児童の支援をする。 有名人の写真を出し、canを使って彼らのできることを児童に考えさせ、表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒にチャンツを言う。 児童から出てきた有名人のできることに関する表現を、必要に応じて言い直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○チャンツで言った表現を使って、有名人のできることを英語で表すことができるように助言する。 ◆デ教、有名人の写真
2分	5 Small Talk (教師同士) Who is he?クイズ	<ul style="list-style-type: none"> 児童がインタビューに行かなかった先生について、HRTとALTによるWho is he?クイズの会話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生紹介をクイズ形式で伝え、児童の先生紹介の活動につなげられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HRTと会話を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の活動の手がかりとなるよう、第三者の情報だけでなく自分のことや感想も含めて話すようにする。
<p>HRT: Who is he? He is a nice teacher. He can do judo. (ジェスチャー)I can't do judo. He can cook very well. He can make cookies! (写真を見せる) I like cookies very much. He can ride a unicycle very well. I can't ride a unicycle. He is so cool! Who is he? ALT: I don't know! Who is he? HRT: He is a teacher of 6-4, Mr. Koshikawa. (顔写真)</p>					
4分	6 言葉・表現の練習	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者ができることの言い方や、感想に使える言い方を復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTの発音やアクセントに注意して言えるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードを示しながら、ゆっくりと正しく言う。 ・丁寧にリピートさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然なジェスチャーを交えながら発音できるようにする。 ◆絵カ、パワーポイント
15分	7 【Activity4】 発表の準備(簡単な原稿作り)	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の準備をする。 ①【Let's Watch and Think2】後半を視聴し、発表の参考にする。 ②ワークシートを使いインタビューした先生のできることでできないことを言う練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材の準備をする。 ・視聴後、よりよい伝え方について児童と再確認する。 ・表情やアクセントを意識して伝えることや、自分のことも含めて伝えるように助言する。 ・机間指導で、児童への助言と支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隊形移動の補助を行う。 ・児童の質問に答えたり、正しい言い方や発音の仕方を指導したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○先生のできることやできないことを、相手意識をもって伝えることを優先し、発表の原稿はメモ程度で終わりにさせる。 ○英語で表現することが難しいものは、日本語を使ってもよいこととする。 ◆WS

	<p>【Let's Watch and Think 2】 さとし：Hello! My name is Satoshi. My friend, John is from Australia. He can swim fast and he can play kendama. He can't cook. He can't play the piano. My friend, Christina is from the Philippines. She can ride a unicycle. She can cook. She can cook curry and rice.</p>				<p><発表例> ①This is _____ teacher, Mr./Ms. _____. ②He/She can _____. ③I can/can't _____. ④He/She can _____. ⑤I can/can't _____. ⑥How about you? Can you _____? (本時はグループの友達、次時はALT に対して尋ねる。)</p>
14分	8 【Activity5】 発表の準備 (伝え合う・アドバイスし合う)	<ul style="list-style-type: none"> グループの友達と伝え合い、よかった点や分りにくかった点についてアドバイスし合い、改善して次時につなげられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の流れを指示する。 机間指導で、児童への助言と支援を行う。 めあてを意識して伝えられている児童を称賛し、全体に紹介したり教師のアドバイスを伝えたりする。 紹介した児童のよい点に気付かせ、共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 隊形移動の補助を行う。 児童の活動の様子を見て、必要に応じて言い方や発音の仕方を指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを確認し改めて意識させる。 ○よい気付きや伝え方をしていたグループに発表させるなど、活動中によさを広めて児童が自分自身の発表に生かすことができるようにする。 ◆WS
3分	9 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、自己評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りを数名発表させる。 児童の活動や態度でよかった点を称賛する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の英語や態度でよかった点を称賛する。 次時への期待を伝え、児童の意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてに対する振り返りをさせるようにする。 ○よさを認め、次時への意欲につながるようにする。 ◆振力
1分	10 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○気持ちのよい挨拶で終わるようにする。

◎学校の先生のできることやできないことを英語で話し、自分のことや気持ちなども含めながら伝えようとしている。【関・意・態】 〈観察・ワークシート〉